

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
保育実習指導 I (保育)	1	後期	演習	2	神崎 光彦

○授業の到達目標及びテーマ

- ・ 児童福祉施設や保育所の役割、機能について具体的に理解している。
- ・ 子ども理解、子どもへの保育及び保護者支援について総合的に理解している。
- ・ 自主実習から得た学びと課題から、具体的な自らの行為・行動、言葉掛けを明確にする。
- ・ 子どもの人権を具体的な園での一日の流れを、保育環境の中で理解している。
- ・ 保育の内容、計画、観察、記録及び自己評価について具体的に理解している。

○授業の概要

児童福祉施設や保育所の生活を観察、参加しながら、各施設の役割と機能、保育士の業務内容について学ぶ。子どもとの関わりを通して子ども理解を深める。事後指導から、自己評価を行い、今後の課題を生かした保育計画の立案、記録等について理解する。

○授業計画

(保育所実習の内容)

第1回 自主実習の評価を振り返る中での、保育所の役割と機能の理解

【事前学修】 保育所と幼稚園と認定こども園の違いについて調べノートにまとめる。

【事後学修】 保育所に預けている保護者支援で大切にすることを考察する。

第2回 保育所における生活と一日の流れについて理解

【事前学修】 0歳の生活の一日の流れについて考察する。

【事後学修】 1歳で起こりやすいトラブルについてノートにまとめる。

第3回 保育所保育指針に基づく保育の展開について理解

【事前学修】 保育のねらいについて調べノートにまとめる。

【事後学修】 児童憲章について考察する。

第4回 子どもの人権を尊ぶことから始まる子どもの理解

【事前学修】 子どもを理解する上で、大切なことをノートにあげる。

【事後学修】 子どもを理解する時の具体的な言葉掛けを考察する。

第5回 子どもの観察とその記録により、守秘義務の観点からの子どもを理解

【事前学修】 子どもを観察する時のポイントをノートに具体的にあげる。

【事後学修】 記録を振り返り、課題を考察する。

第6回 子どもの発達過程についての理解と実習課題との関係性への理解

【事前学修】 2歳児クラスの大きな自立に向けての事柄を3つ調べノートにまとめる。

【事後学修】 睡眠時に気をつけなくてはならない事柄を考察する。

第7回 子どもへの援助や関わり方について理解

【事前学修】給食の際の援助で気をつける点を考察する。

【事後学修】自分から来ない園児への声掛けについて具体的にノートにまとめる。

第8回 保育内容・保育環境（人的・物的）への俯瞰的視点への理解

【事前学修】人的保育環境で危機管理の上で大切なことをノートにまとめる。

【事後学修】0歳児の保育で大切な物的環境を具体的に考察する。

第9回 保育の計画に基づく指導計画及び評価について理解

【事前学修】指導計画を立てる際の一番大切にすべき点を考察する。

【事後学修】評価においてどのような視点が要であるかを具体的にノートにまとめる。

第10回 子どもの発達過程に応じた保育内容についての理解

【事前学修】各クラスの月齢が遅い園児への配慮点をノートにまとめる。

【事後学修】子どもの肯定感をあげる声掛けを具体的に考察する。

第11回 子どもの生活や遊びと保育環境について理解

【事前学修】遊びに集中できる環境をノートにまとめる。

【事後学修】遊びの連続性を大切にできる保育環境について考察する。

第12回 子どもの健康と安全への配慮について理解

【事前学修】午睡の意味について考察する。

【事後学修】お散歩の安全への配慮事項を具体的にノートにまとめる。

第13回 保育の計画・観察・記録の着眼への理解

【事前学修】全体的な計画の大切な点をノートにまとめる。

【事後学修】SDGSを鑑みた指導計画案を立ててみる。

第14回 専門職としての保育士の役割と職業倫理

【事前学修】記録に基づく省察と、自己評価をノートにまとめる。

【事後学修】保育士の小学校への引き継ぐ際への特に必要な倫理的視点を考察する。

第15回 職員間の役割分担や連携について理解し、実習簿を提出し園よりも評価をいただく。

【事前学修】保育士の役割と職業倫理についての関係性を調べノートにまとめる。

【事後学修】職員間の要になる具体的事柄について考察する。

○テキスト

『改訂版 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』著者代表 小櫃智子 (株)わかば社

○参考書・参考資料等

『幼稚園教育要領解説』（最新版）文部科学省 フレーベル館

『保育所保育指針解説』（最新版）厚生労働省 フレーベル館

『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館

○学生に対する評価

実習園からの評価 60%

実習記録などの提出物 40%